

作品

狂歌

# 刑弁カルタ

もしくは愚痴

弁護士 市川清文

## 《総論》



弁護士を  
敵視する世の貧しさや  
かの暗黒の  
世を忘れたか

接見が  
社会との窓  
命綱  
この命題を  
知らぬ窓口

拘留所の  
待合室でお菓子買う  
慣れた風情の  
母子の会話

刑務所に  
拘留所のある不思議かな  
どうせ入ると  
言わんばかりに

想像と  
表現をもつ芸術家  
この国の檻  
表してと思う

拘留所は  
便所と並びこの国の  
文化水準  
正確に計る

法曹の  
三者の長が一週間  
拘留所に住む  
被疑者体験

## 《体験》

肉親が  
拘束されたと空想し  
拘留所の中  
一度夢想を

判事殿  
研修の隅に加えんか  
被疑者体験  
ちよつとちよびつと

エリート  
の  
修習生ならまずはこれ  
拘留所刑務所  
体験修習

国権の  
最高機関は拘留所を  
見たことあるのか  
感じ入ったか

## 《規制》

申し込み  
待って呼び出しつになる  
終了時間の  
制約さえあり

一般の  
面会も随分不自由そう  
弁護士接見  
だけじゃないのか

先生と  
呼びつつ拘置所小役人  
あからさまなる  
権力の対応

錯覚を  
哀しいと言いは誰ならん  
拘置所窓口  
どこか哀しも

手書きから  
パソコンスマホと変われども  
変わらぬ牢屋  
接見室かな

貧困が  
させたか暗き事件にも  
拘置所職員  
元氣旺盛

接見が  
命ならんと指導しき  
亡き先輩も  
泣くや怒るや

接見を  
するならスマホもパソコンも  
デジカメもロッカーに  
しまつてや

警察の  
代用監獄  
悪のごと  
でも拘置所も  
負けず劣らず

拘置所は  
唯一絶対がある施設  
相対の価値  
知らせたいのに



## 《拘置所は》

戦前と  
比べることは減りたるも  
拘置所ばかりは  
変わらぬとか言う

拘置所は  
法務省傘下と知らされて  
刑事裁判  
危うしと思う

拘置所は  
お役所時間でございます  
接見制約  
警察よりダメ

拘置所を  
嫌って留置場望む  
ベテラン容疑者  
弁護士に説く

## 《設備》

記録すら  
置けない小さな棚板も  
昔変わらぬ  
接見室なり

接見は  
大声出しても聞き取れぬ  
プラスチックボードの  
穴と格闘

当番も  
被疑者国選弁護士も  
接見室なきや  
接見できぬぞ

堂々と  
秘密交通監視中  
鏡が実は  
マジックとかや

## 《女性》

県警の  
トップは森田健作か  
接見問題  
君は知るのが

県本部  
女性被疑者がまた留置  
他の警察署には  
設備少なく

女性用  
接見室数誇る署に  
県下あまたの  
被疑女を集中



## 《えん罪の危機》

堀の内  
経験ありし有名人  
集めて集会  
勉強会せよ

虐待を  
記録するよな制度あれ  
自分が入れば  
ぜひ使うかも

弁護士も  
えん罪集積博物館  
しっかり作って  
後世に告げよ

冤罪が  
どの警察で拘置所で  
生まれたのかを知る  
見学会なし

冤罪は  
必ず関与の司直あり  
個人責任  
聞いたことなし

戦前は  
拷問あったが現在も  
ありと言う人  
表には出ず

《警察は犯罪被害回避に動いたか》

被害者になり  
なる前の助け求めたが  
テレビにも顔

警察に  
行ったその日に殺された  
君に無念は  
ありやなしやと

警察に  
届け訴え告訴にも  
いつになったら  
動いてくれるの

警察は  
不真正不作為犯の殺人罪  
問われることは  
ないのだろうか

なすべきか  
なさざるべきかその問いに  
警察官の  
モラルをこそ問う

公務員  
保護責任者遺棄致死罪  
あるいは過失も  
問うたならどう

犯罪の  
前後にやはり警察官  
期待大なり  
今後にも期待

我々の命守るは誰なのか  
そういう関係  
今はあるのか

【どどいつ・・・おまけ】

適正妥当な  
職務執行  
後は結果の  
運不運？

お前もあいつと  
同じ仲間か  
警察にさえ  
不信任

再三再四の  
求めもダメで  
殺され損は  
自己責任？

殺されてからの  
焼香でなく  
生きてる内に  
検挙して

【番外編】リサ割カルタ

リサごとき  
弁護士業左右する  
そんな馬鹿なと言うのを  
やめる

リサ交代  
すぐに埋まるね助かった  
こんな時代は想定外だが

義務負担  
ソフト当初の呼び名だが  
今や全く逆の扱い

リサ割に  
義務がついてた時代知る  
会員今やほんの一部に

弁護士の  
位置づけやっぱり違っ  
る  
昔はいはい今はいはい

リサと共  
弁護士家業の凋落は  
やはり経済土台の理屈

リサを見て  
弁護士家業の今を知る  
昔々は絵本の中で

《反歌・・・じゃないかな》

こんな目に  
遭ってもやっぱり弁護士の  
力量信じる顧客頼もし

事件処理  
先生の弁論最高です  
これにはだされ幾年月なり



メ